

自己評価結果シート【令和3年度】

1. 本園の教育目標

<p>○教育及び保育の目標や理念</p> <p>乳幼児の安定した生活の中で情緒の安定を図るよう努め、自己を十分に表現し発揮できるように配慮し、心身ともに豊かに成長することができるように努め、地域社会との交流や連携を図り、保護者に適した支援を行うと共に日々子どもたちの幸福の追求のために努力を惜しみません。</p> <p>○教育及び保育のねらいや内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びを通して、学ぶ事の楽しさを知り、一つ一つの体験の積み重ねの中で、興味関心を広げる。</li> <li>自ら考え主体的に物事に取り組み、解決していく力及び自主、自立、協力、協調の精神を育む。</li> <li>音楽、描画、身体表現、造形に親しむ中で、豊かな感性と表現力の芽生えを養う。</li> </ul>
---

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
<p>教育・保育方針</p> <p>教育及び保育の目標</p>	<p>当園における保育理念や保育方針、子ども達に対する対応や日常業務等を後進に伝えていくために、教育担当制を実施した。今までは自分で考え自分で振り返る必要があったが、指導者がいることにより、他者評価が実施でき、自己評価シートをすることによりより良い振り返りをすることができた。</p>
<p>健康支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対策として、引き続き、登園児の検温・手指消毒を徹底し、おもちゃ消毒や必要に応じた子どものマスク着用を実施した。ただし、熱中症等、健康に影響を与える恐れがある場合はや、園庭で遊ぶ時は必要に応じてマスクを外した。</li> <li>市内の感染レベルに応じた対応に心がけ、感染レベルが高ければ縦割り保育や合同保育を中止したり、マスク着用の見直し等、必要に応じて柔軟な対応を実施した。</li> </ul>
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員による毎日の遊具点検や園内外点検を実施し、事故を未然に防止するように努めている。</li> <li>年間計画に沿って月1回の避難訓練を実施し記録している。土砂災害警戒地域のため、土砂災害に遭遇した場合の対応についても訓練を取り組んだ。</li> </ul>
<p>食育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食室の協力のもと、毎日の一環として、食前に様々な内容の食育を実施している。また、季節の野菜を各クラス毎で栽培し、毎日の観察や水やりを通じた愛情を注ぐことの大切さや如何に育てることの苦労を伝え、育った時に給食に出すことで、食のありがたみを感じる事が出来た。</li> <li>年長児はもち米を植えることから始め、収穫、もちつきを実施し、お餅になる全工程を通じて食育をすることができた。</li> </ul>

子育て支援	<p>今年例年よりも新型コロナウイルス感染症の影響がない時は、子育て支援を実施するように努めた。少ないながらも参加者が増えてきたが、認知度は低いように感じる。地域の子育て家庭に広く知ってもらえるよう、認知度向上の強化に努めていきたい。</p>
教育・保育内容	<p>YYプロジェクト3年目であったため、3歳児から続けてきた子ども達が今年年長となり、去年よりも体操のレベルが全体的に向上し、読み・書き・計算についても全体的にレベルが向上した。</p> <p>今後は、子ども達が自由に発想出来る環境構成の構築に重点を置き、子ども達の主体性がどんどん向上するような工夫に心がけていきたい。</p>
特別支援教育	<p>保育士の言葉かけについて、職員間で見直し、ポジティブシンキングができるように、常にポジティブな言葉かけに気をつけていった。特別に支援を必要とする子どもについても、保育者の声掛けを変えたことにより、全体的なストレスが軽減し、落ち着いて過ごすことが出来た。</p>
職員の資質の向上	<p>新型コロナウイルスの影響により、直接研修に参加することが少なくなったが、今年はWEB会議を通じて職員研修に参加することができた。</p> <p>職員間の教育体系の構築については、今年度から自己評価シートを使用し、自己評価から他者評価をすることにより、振り返りをする機会を多くできたため、スキルアップに繋がったと感じたが、教育体系にはまだ見直しが必要なため、今後改善していく。</p>
その他	

### 3 今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み
教育・保育内容	<p>YYプロジェクトと並行して、子ども達の主体性や自由な発想を向上するために、自由保育の強化にも努めた。子ども達が主体性を持って自分で考え、自分たちで意思決定し行動できるような教育体系の構築をしていくことが今後の課題と感じる。</p> <p>YYプロジェクト、自由保育のそれぞれの長所を活かした保育が出来るように今後検討していきたい。</p>
職員の資質の向上	<p>職員間の指導や教育については、去年よりも良い雰囲気を取り組むことが出来たが、評価シートの見直しや、振り返りや話し合いが出来る時間の設定など、課題は山積みである。ただし、職員が主体性を持って行動できるような雰囲気が強くなってきたので、今後も意識して取り組んでいきたい。</p>